

特別支援教育 あどばいすタイム



日々の支援・指導で困ったときに・・・

～総合教育センター特別支援・相談課における学校支援～



徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課

第1回 あどばいすタイム 話題提供

総合教育センターで行っている支援内容について

1) 教育相談について

2) 特別支援について

1) 教育相談について

教育相談及び各種事業のご案内

教育相談担当

教育相談の総合的なプラットフォーム

保護者の支援

ライフサポーター派遣

学校に行きづらくひきこもりがちな児童生徒の家族や別室登校をしている児童生徒の学校に、臨床心理学を学ぶ大学院生を派遣し、悩みや不安の解消に向けて支援

ライフサポーター派遣

子どもの支援

教育相談

「電話相談」「来所相談」「メール相談」「出張相談」
悩みの解決を目的に、事案に応じた伴走型の支援を実施

教育相談を中心とした
各種支援事業を展開しています。

徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課



教員の支援

不登校児童生徒支援会議

学校関係者や関係機関を交え、子どもの支援方法について協議し、学校問題に対応する支援体制構築

教育相談コーディネーター研修

教育相談の中心的役割を担う人物の育成し、教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制を充実

学校カウンセリングゼミナール

カウンセリングや子どもの心理など教育相談に関するについて研修会の開催

ほっとスペースあせび

不登校やひきこもり傾向等にある中・高校生などに、センター内外でスタッフと共に体験活動やレクリエーションを実施し、「ほっ」とできる心の居場所を提供



LINE相談

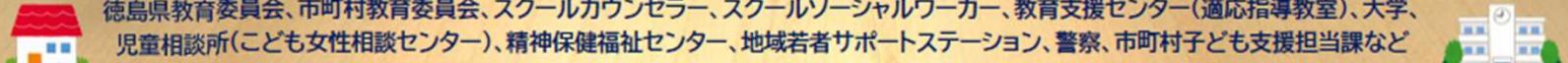


公立中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校中学部・高等部の生徒対象
「友だち登録」で、「いつも相談窓口があなたの手元にあるよ」



関係機関との連携

徳島県教育委員会、市町村教育委員会、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援センター(適応指導教室)、大学、児童相談所(こども女性相談センター)、精神保健福祉センター、地域若者サポートステーション、警察、市町村子ども支援担当課など



電話相談・来所相談・メール相談・出張相談



不登校、発達についての相談など、教育に関する
様々な相談をお受けしています。

- 対象：18歳までのお子さん、保護者、教員等
- 時間：午前9時～午後5時（土日、祝日を除く）
- 来所相談は、電話での予約が必要
面接時間は1回50分
- 出張相談は、来所相談で必要が生じたときに、学校等へ
- **指導上の相談にも対応**



こんなご相談お受けいたします

不登校

電話相談 … 088-672-5200(平日の9:00~17:00まで)

いじめ

来所相談 … 事前の電話予約が必要です。

進路適性

メール相談 … tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp

学業不振

出張相談 … 来所相談の中で必要が生じた場合、
学校などに出向きます。

学校生活

子どもの発達

読み書き計算の遅れ

落ち着きがない

コミュニケーションが苦手

友だちとのトラブルが多い

興味・関心に偏りがある

その他、教育に関すること



不登校児童生徒支援会議ケース会議



当センターの
HPより

- 専門家からの助言が必要な場合や、学校及び関係機関（SC、SSW等）からの要請があった場合ケース会議を開き協議を行う
- 大学教授、SC、SW、精神保健福祉センターや児童相談所等の参加をお願いすることもできる



各学校や保護者（児童生徒）からの要請に応じて、専門家を招き、その事例に応じたケース会議を開催しています。

【対象者】	徳島県内の公立学校の教職員及び保護者等
【開催日時】	要相談（オンラインでも可能です）
【実施場所】	総合教育センター
【参加費】	無料
【アドバイザー】	（関係機関）・鳴門教育大学 ・精神保健福祉センター ・中央こども女性相談センター ・地域若者サポートステーション 等 （役職）・スクールカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー ・臨床心理士 ・公認心理師 ・精神保健福祉士 等
【事例】	①教育相談で上がった相談に対し、支援方法について専門家を交えて協議 ②精神的に悩みを抱える児童生徒の支援・指導に対する教員（学校）へのアドバイス ③学校、教育支援センター等関係機関が一同に集まり、児童生徒の支援方法について協議・支援内容について連携 ④その他
【申込方法】	088-672-5200 にご連絡ください。📞 その際には「ケース会議について」とお話しください。
【その他】	・保護者の方でご希望される場合には、一度来所されての教育相談をお願いします。教育相談のご予約は、上記【申込方法】の番号までご連絡ください。

こんなケースに対応しています

過去の事例

- ◆ 不登校が多い学年に対する不登校支援の仕方
- ◆ ギフテッドの方に対する支援の仕方
- ◆ 自殺企図の生徒と親への支援の仕方
- ◆ 総合教育センターへの相談が続いている生徒への今後の方向性について
- ◆ 教育支援センターとの連携について



ライフサポーター派遣事業

ライフサポーター派遣

他者と関わるきっかけをつくり、自立を側面的に支援し悩みや不安を解消

不登校でひきこもり傾向にある児童生徒の家庭や学校へ臨床心理学を学ぶ大学院生を派遣

【R5年度:委嘱数】
鳴門教育大学大学院生69名
徳島文理大学大学院生10名
計79名

鳴門教育大学
徳島文理大学

本人
保護者

総合教育
センター

小学校
中学校
高等学校
中等教育学校
特別支援学校



ライフサポーター派遣事業実績

家庭派遣

不登校でひきこもり傾向にある児童生徒の自宅等に訪問

学校派遣

不登校で別室登校をしている児童生徒が在籍する学校へ訪問

※徳島市在住で徳島市立の小・中学校に在籍する場合は、学校派遣のみの適用

	実施回数	派遣実績				
		計	小学生	中学生	高校生	特別支援学校
R5	家庭派遣 183回	13ケース	2ケース 35回	9ケース 128回	0ケース 0回	2ケース 24回
	学校派遣 51回	3ケース	2ケース 28回	1ケース 23回	0ケース 0回	0ケース 0回

【活動内容】

- 好きなことを一緒に楽しんだり、話し相手になったりする
- 先生や友だちとは異なる年の近い親しい存在として、不安や悩みに寄り添う

【訪問回数・時間】

- 週1回、1時間
(毎週決まった曜日、時間帯)
- 活動は平日の日中時間帯
※遠方の場合は、隔週の訪問やオンライン訪問なども検討



派遣までの手順

学校を通じて家庭にリーフレットを配付・説明。派遣希望の有無を児童生徒と保護者に確認



保護者の依頼を受け、学校長が適当と判断した場合、総合教育センター所長に書類を提出



大学での協議を経て、派遣するライフサポーターを決定



総合教育センターから、当該学校へ派遣するライフサポーターについて通知



初回関係者会議を開催



関係者会議: 学校関係者、ライフサポーター、SC

訪問を開始

家庭派遣では、原則として初回の家庭訪問時は担任が同行

学校派遣では、原則として活動開始時と終了時は学校の教員等が立ち会う



周知チラシ

令和6年度

ライフサポーター派遣

ライフサポーター派遣とは

無料

不登校でひきこもり傾向にある児童生徒の家庭や、不登校で別室登校をしている児童生徒の学校に、臨床心理学を学ぶ大学院生（ライフサポーター）が訪問します。他者と関わるきっかけをつくり、児童生徒の悩みや不安の解消に向けて支援します。

対象

徳島県内の公立小学校・中学校・高等学校、中等教育学校、特別支援学校の児童生徒です。

訪問先

- ・家庭派遣は、児童生徒の自宅を訪問します。
- ・学校派遣は、児童生徒の学校を訪問します。
- ※徳島市在住で徳島市立の小・中学校に在籍する場合は、学校派遣のみとなります。

活動内容

好きなことを一緒に楽しんだり、話し相手になったりします。先生や友だちは異なる、年の近い親しい存在として、不安や悩みに寄り添います。

訪問回数・時間

- ・週1回、1時間（毎週決まった曜日、時間帯）。
- ・活動は平日の日中時間帯です。
- ※遠方の場合は、隔週の訪問やオンライン訪問などを検討します。

Q & A

- Q. 申込の手続きは？**
A. 学校を通じてお申し込みいただけます。手続きの大まかな流れは以下のとおりです。なお、申し込みは、随時受け付けます。また、継続の場合も年度毎に申請が必要です。
①申込前に学校から当センターへ連絡（派遣状況等の確認） → ②申請書類を当センターへ提出 → ③大学でライフサポーターを選定 → ④当センターから学校へ決定通知書を送付 → ⑤学校とライフサポーター間で連絡・日程調整 → ⑥関係者会議開催後、訪問開始
- Q. 申込に際しての注意事項は？**
A. 申込には保護者および本人の同意が必要です。また、家庭派遣は保護者在宅時に限ります。
- Q. 派遣期間は？**
A. 4月から2月末までです。長期休業期間中（夏休みなど）については、学校、保護者・本人、ライフサポーターで話し合ってください。
- Q. 学習の指導は？**
A. ライフサポーター派遣の目的と異なるため、学習の指導は行いません。
- Q. 当日、本人の体調等によりキャンセルする場合は？**
A. 速やかにライフサポーターへ連絡してください。キャンセルの場合でも、保護者や先生の話をお聞かせいただいたり、本人に手紙を渡していただいたりする目的で、予定の時刻に訪問先にお伺いすることがあります。ご協力をお願いします。

子どもの声

- ・話しやすく、共通の好きな話題についてたくさん話げできた。
- ・来てくれる日が楽しかった。
- ・優しく楽しい方だったので、落ち込んで安心して会話できた。大学生の話も聞けてよかった。

保護者の声

- ・話を楽しみに学校に行っていた。訪問日は、表情が良くなっていて、前向きになっていく様子がよくわかった。出会いに感謝している。
- ・お兄さん的な立場で接してくれ、子どもも構えずに関わられた。

先生の声

- ・家庭、学校以外の大人に関わってもらえ、ありがたかった。
- ・教員が気づかない子どもの一面を引き出してくれた。
- ・子どもの心を聞くきっかけとなる、大切な役割をしてもらった。

徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課

088-602-7285

〒779-0108 徳島県板野郡板野町伏字東谷1-7

<https://www.tokushima-ec.ed.jp/>

派遣期間

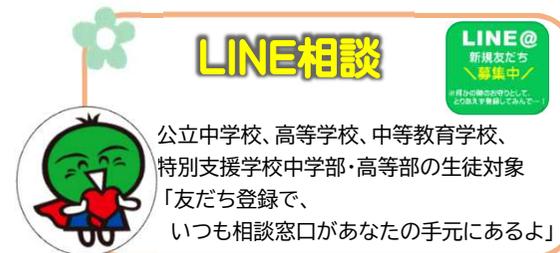
令和6年4月～令和7年2月末

長期休業期間中については、学校、保護者・本人、ライフサポーターで話し合って決定

時間帯

週1回、1時間（毎週決まった曜日、時間帯）
活動は平日の日中時間帯

SNS活用「とくしま生徒の心の相談」事業



「いつも相談窓口があなたの手元にあるよ」がキャッチフレーズ

配付された「LINE相談案内カード」に掲載の「QRコード」を読み取ると「友だち登録」ができ、相談できる状態になります。

相談期間

令和6年4月26日（金）
～令和7年3月31日（月）

時間帯

18:00～21:30
〔受付時間は21時まで〕

対象

公立中学校、高等学校、
中等教育学校、
特別支援学校中学部・高等部の生徒

答えてくれるのは専門家

臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士
などの資格を持った専門家がリアルタイム・双方向で対応

悩みって？

今年度相談内容の上位は、

- ①「心身の健康・保健」
- ②「友人関係」
- ③「恋愛に関する悩み」「学業・進路」

メリットは？

- ・日常的に早い段階で相談することで、本人の思いを汲み取ることができる事案が多い
- ・中には緊急を要する内容も
その際は、速やかに対応し、早期解決に向けて学校や関係機関と連携

担任用・クラス掲示用チラシ

担任説明用

教室掲示用

SNS活用「とくしま生徒の心の相談2023」事業案内にあたり、担任の先生へのお願いです。

「いつも相談窓口が
あなたの手元にあるよ」
がキャッチフレーズです！

- HR活動等を利用して、「LINE相談案内カード」の配付をお願いします。
- QRコードを読み取ると「友だち登録」ができ、相談できる状態になります。
- HR活動などの時間を利用して、まずは、**QRコードを読み取って、登録すること**を呼びかけてください。
- ちょっとした「イラッ」「ん〜」な悩みごと、「ショック…」「もやっ」とする「困ったなあ」があった時のために、**今現在、相談することがなくても、「いつも相談窓口が手元にある」状態に**していただき、ふとした時に、気軽に相談できるようご案内ください。
- LINE画面の上位に、**ピン留め**すると便利です。
※ピン留め:トークルームを常に上位に配置できる機能

悩みって？

今年度相談内容の上位は、
①「友人関係」
②「心身の健康・保健」
③「恋愛に関する悩み」「学業・進路」
でした。

相談体制は？

臨床心理士や公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士などの資格を持った専門の方が双方向で、リアルタイムで対応します。

メリットは？

日常的に**早い段階で相談**することで、本人の思いを汲み取ることができる事案が多いようです。しかし、中には緊急を要する内容も。その際は、速やかに対応し、早期解決に向けて**学校や関係機関と連携**します。

「とくしま生徒の心の相談」2023
教員説明用

いつも相談窓口があなたの手元にあるよ

- * ちょっと「イラッ」とした
- * 「ん〜」と悩んでしまう
- * 言われた一言に「ショック」
- * 何となく「もやっ」とした
- * 「どうしよう」と困っている …など
友達のこと、進路のこと、恋愛のこと

相談できる
こと



臨床心理士
公認心理師
精神保健福祉士
社会福祉士
などの資格を持った
専門家が、リアルタイム・双方向で対応

答えてくれるのは
専門家



配付された「LINE相談案内カード」に掲載のQRコードを読み取ると「友だち登録」ができ、相談できる状態になります。

やってみよう!



もし、今すぐ相談することがなくても、**いつも相談窓口が手元にある**とふとした時に、気軽に、相談できます。

LINE画面にピン留めすると便利です。



「とくしま生徒の心の相談」2023 教室掲示用

ほっとスペースあせび



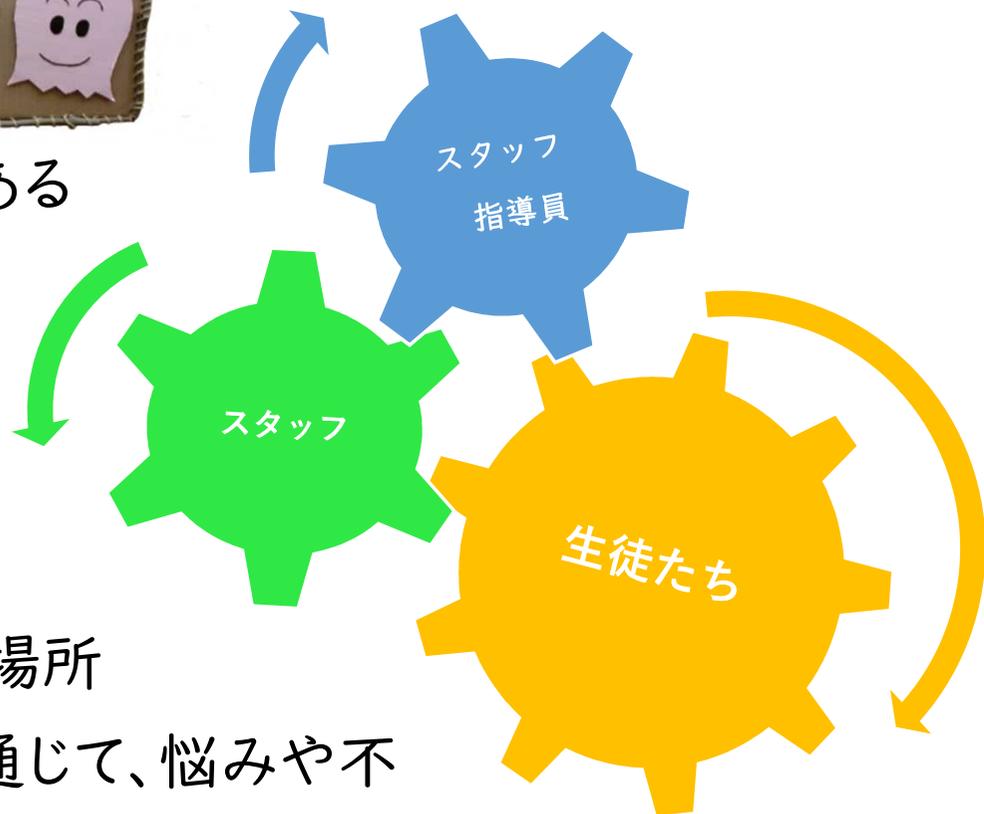
対象

不登校やひきこもり傾向等にある
中学生・高校生等
(保護者:教育相談)



目的

- 「ほっ!」とできるこころの居場所
- 子どもに寄り添った活動を通じて、悩みや不安の解消を図る
- 自己肯定感を高め、学校復帰や社会的自立につながるよう支援



ほっとスペースあせび

実績令和5年度参加者実績 ()内は令和4年度人数 「出張ほっとスペースあせび」も含む



実施月	実施回数	参加者(のべ人数)				
		中学生	高校生	小計	保護者等	合計
5	3 (3)	5 (2)	0 (2)	5 (4)	0 (0)	5 (4)
6	5 (3)	13 (7)	1 (3)	14 (10)	5 (6)	19 (16)
7	2 (3)	3 (6)	0 (3)	3 (9)	1 (2)	4 (11)
9	5 (4)	16 (6)	0 (4)	16 (10)	2 (0)	18 (10)
10	3 (3)	10 (5)	0 (3)	10 (8)	3 (0)	13 (8)
11	4 (3)	16 (6)	0 (3)	16 (9)	2 (1)	18 (10)
12	3 (3)	9 (8)	0 (3)	9 (11)	0 (2)	9 (13)
1	3 (3)	10 (10)	3 (3)	13 (13)	1 (1)	14 (14)
2	4 (4)	13 (17)	0 (4)	13 (21)	0 (1)	13 (22)
のべ人数計		95 (67)	4 (28)	99 (95)	14 (13)	113 (108)
実人数		14 (5)	2 (1)	16 (6)	11 (6)	27 (12)



■ ホームページ



「ほっとスペースあせび」とは・・・

不登校やひきこもりがちな**中学生・高校生**等に「こころの居場所」を提供し、様々な活動を通じて悩みや不安の解消を図り、自己肯定感を高め、学校復帰や社会的自立に繋がるよう支援する取組です。

【対象者】	徳島県内の不登校やひきこもりがちな 中学生・高校生 等とその保護者
【実施日時】	毎週金曜日 午後1時30分～午後3時30分（※ただし、長期休業中はお休みしています）
【実施場所】	総合教育センター内「こころとからだのサポートセンター」
【参加費】	無料 （※ただし、調理 ^{!!} 等に必要な材料費等は自己負担となります。）
【スタッフ】	・総合教育センター担当職員 [😊] ・臨床心理学を学ぶ大学院生 [😊] 等
【活動内容】	参加者の興味関心の高い活動を中心に計画します。

※日時や活動内容については、[こちらから!](#) 

【例】 体験活動（調理・ガーデニング・工作）
レクリエーション（室内ゲーム・卓球）
散策（総合教育センター周辺）
自主学習座談会 等

【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の参加でもOKです。 ・希望する保護者の方には、個別相談を実施しています。 ・初めて参加される方は、事前にお問い合わせください。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ あせびだより



2023年8・9月号

みなさん、こんにちは！
朝晩は少し涼しくなってきましたが、日中はまだまだ暑い日が続いていますね。
朝晩と日中の気温差もあり体調を崩しやすいので、無理をせずに身体を大切にしてください◎
さて、皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか？
8月はあせびの活動がありませんでしたが、9月からまた活動が再開します！
今月も皆さんがワクワクするような活動を計画しました🍁
9月にあせびで皆さんに会えるのを楽しみにしています🍀

☆7月の活動の様子☆

七夕ゼリーを作ったよ！



ビチャ！バチャ！バシャ！
ウォーターバトル



水風船や水鉄砲を
使って遊んだよ！

季節の行事
「セク」を味わおう！



★9月の予定★

※予定は変更になることがあります。

- 9月1日 秋の工作 ～シャボン玉で作ろう！シャボン玉を作ろう！！～
雨天の場合は、9月8日と予定を振り替えます。
- 9月8日 壁に秋を彩ろう（壁面作り）
- 9月15日 「ほっとスペースあせび」ウォークラリー
- 9月22日 射的名人の座は誰の手に！？～第1回あせび射的大会～
- 9月29日 月見団子を作ろう！
調理をするので、エプロンと三角巾、100円を持ってきてね！

詳しく知りたい方はこちらのQRコードを読み込んでみてね！

「ほっとスペースあせび」
こころとからだのサポートセンター（総合教育センター内）
毎週金曜日 13時30分～15時30分
申し込み不要。当日参加OK。初めてのの方はご連絡ください。
☎088-672-5200 Web: <https://www.tokushima-ec.edu.jp>
【場所】 〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏東谷 1-7（駐車場あり）



HPアップ回数

- 「あせびだより」…8回
- 「活動内容」…9回
- 「あせびファーム通信」…1回
- 「出張ほっとスペースあせび」…2回

周知チラシ

「学校以外で誰かといっしょにつなぐりたい」
 「ちょっと新しい経験をしてみたい」そんなみなさんに、
 「ほっ」とできる居場所を準備しました。

ほっとスペース あせび

臨床心理学を学ぶ大学院生が、スタッフとしていっしょに活動します。

期間 令和6年5月～令和7年2月(長期休業中はお休み)
日時 毎週金曜日 午後1時30分～午後3時30分
場所 徳島県立総合教育センター1階
 こころとからだのサポートセンター
 徳島バス「あすたむらんど経由板野区原行」により
 「総合教育センター前」で下車
対象者 徳島県内の中学生・高校生等
活動内容 ◆体験活動(ガーデニング・工作・調理など)
 ◆レクリエーション(室内ゲーム・テニスなど)

徳島県立総合教育センター特別支援・相談課
 【住所】 徳島県板野郡板野町大伏字東谷1-7
 【電話】 088-672-5200 (年末年始を除く、平日の9:00～17:00)

毎週金曜日実施している「ほっとスペースあせび」
 活動内容は、こちらのアドレスまたは、QRコードから！！

【HP】 <https://www.tokushima-ec.ed.jp>

参加費 無料
出張
 徳島県内の中学生・高校生等対象
 会場は アミコ東館7F

ほっとスペースあせび

「誰かとつながりたい」「ちょっと新しい経験をしてみたい」みなさんに、「ほっ」とできる居場所を準備します。毎週金曜日に板野町で実施している「ほっとスペースあせび」が徳島市に出張します。自分のペースで参加できます。

日時 2023年11月29日(水) 10:30～12:00
場所 徳島市まちづくり協働プラザ(アミコ東館7F)
活動内容 おしゃべりと創作活動

臨床心理学を学ぶ大学院生がスタッフとして、いっしょに活動します。

※参加される方は、事前にお問い合わせください。

徳島県立総合教育センター特別支援・相談課
 【住所】 徳島県板野郡板野町大伏字東谷1-7
 【電話】 088-672-5200 (年末年始を除く、平日の9:00～17:00)

毎週金曜日実施している「ほっとスペースあせび」の活動内容は、こちらのアドレスから

【HP】 <https://www.tokushima-ec.ed.jp>

参加費 無料
出張
 徳島県内の中学生・高校生等対象
 会場は アミコ東館7F

第2回

ほっとスペースあせび

「誰かとつながりたい」「ちょっと一緒に活動してみたい」みなさんに、「ほっ」とできる居場所を準備します。毎週金曜日、板野町で実施している「ほっとスペースあせび」が、アミコ東館 まちづくり協働プラザ に再び出張！

日時 2024年2月21日(水) 10:30～12:00
活動内容 おしゃべりとテレビゲーム

※参加される方は、事前にお問い合わせください。

今回はゲームのプロ！！
 自立支援団体「はやぶさ」さんがスタッフとして、いっしょにサポートします。

徳島県立総合教育センター特別支援・相談課
 【住所】 徳島県板野郡板野町大伏字東谷1-7
 【電話】 088-672-5200 (年末年始を除く、平日の9:00～17:00)

毎週金曜日実施している「ほっとスペースあせび」
 活動内容は、こちらのQRコードまたはアドレスから！！

【HP】 <https://www.tokushima-ec.ed.jp>

総合教育センターの教育相談及び各種事業のご案内

このようなことが気になっていませんか？



不登校

いじめ

進路適性

学業不振

学校生活

子どもの発達

教育相談

電話相談 …088-672-5200(平日の9:00~17:00まで)
来所相談 …事前の電話予約が必要です。
メール相談 …tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp
出張相談 …来所相談の中で必要が生じた場合、学校などに出向きます。



読み書き計算の遅れ

落ち着きがない

コミュニケーションが苦手

友だちとのトラブルが多い

興味・関心に偏りがある

その他、教育に関すること



*不登校やひきこもりの相談、発達障がいを含む障がいのある子どもについての相談などに応じます。
*保護者の方からの相談はもちろん、教職員の指導上の質問や相談にも応じます。
*心理検査は行っていません。

ライフサポーター派遣

対象:徳島県内の小中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童生徒
派遣期間:4月~2月末(長期休業日については要相談)
週1回、1時間(毎週決まった曜日、時間帯)
活動は平日の日中時間帯
※先生や友だちとは異なる年齢の近い大学院生を家庭や学校に派遣



不登校児童生徒支援会議

対象:徳島県内の公立学校の教職員及び保護者など
実施場所:総合教育センター(オンラインでも可能)
関係機関:大学教授、SC、SSW、精神福祉センター、児童相談所、教育支援センターなど
※各学校や保護者(児童生徒)からの要望に応じて、専門家を招き、その事例に応じたケース会議を開催



教育相談コーディネーター研修

対象:徳島県内の小中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教育相談コーディネーター
不登校やいじめ問題などに対する教育相談を中心とした児童生徒支援の在り方や、研修・事例検討などを通して各学校における教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制の充実・推進



ほっとスペースあせび

対象:徳島県内の不登校やひきこもり傾向等にある中学生、高校生など
実施期間:5月~2月末(長期休業期間中はお休み)
毎週金曜日 13:30~15:30
場所:総合教育センター1階「ここからだのサポートセンター」
※「出張ほっとスペースあせび」の実施時間・場所については、総合教育センターHPに掲載



LINE相談

対象:公立中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校中学部・高等部の生徒
※配付された「LINE相談案内カード」に掲載のQRコードを読み取ると「友だち登録」ができ、相談ができる状態に(早期対応・連携)



学校カウンセリングゼミナール

対象:徳島県内の小中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教職員
カウンセリングや子どもの心理について、教育相談などに関する研修会を開催
様々な不安などで悩む児童生徒への適切な対応や学校教育相談の理論と技法について学び、教員の相談力を向上



一人で悩まずにご相談ください！ 徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課 18歳までの幼児児童生徒、保護者、教職員などが対象です。



2) 特別支援について

「特別支援教育について知りたい！」



「特別支援教育って
どんなことをするの？」

「子どもたちの支援に役立つ
情報が知りたい！」



特別支援・相談課では、
学校の先生方や特別支援教育に携わる方々を
全力で応援します！

要請訪問B

要請訪問B



➤ 目的

特別支援教育に関する研修の充実と指導力の向上

➤ 対象

幼・こども園、小・中・高、中等教育、特別支援の各学校・園

➤ 内容

研修会：ポジティブ行動支援（PBS）、自立活動、保護者対象

児童生徒支援：個別指導、環境設定 等

➤ 令和5年度の実績

幼稚園・こども園：1園 小学校：19校 中学校：3校

高等学校：1校 特別支援学校：0

計23校から依頼

特別支援教育に関する支援①

要請訪問B

要請訪問B

➤ 申し込み方法

①特別支援・相談課に電話連絡。
日時等について要相談。

②申請書の記入
総合教育センターHP
→「教職員支援・学校支援」
→要請訪問
→幼・小・中学校申請書ダウンロード
(もしくは県立学校)

③申請書を特別支援・相談課へ送付

※特別支援・相談課代表：tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp



令和 年 月 日

(※注1 徳島県立総合教育センター所長) 殿

学校名
学校長

指導主事による要請訪問の希望について(依頼)

このことについて、次のとおり希望しますので、指導者を派遣してくださいようお願いいたします。

1 日 時 令和 年 月 日 (曜日)
午前・午後 時 分 から 午前・午後 時 分まで

2 場 所 (学校名)
(住 所)

3 訪問種別・希望教科等
要請訪問A ・ 要請訪問B (いずれかを○で囲む)
希望教科等

4 研究課題・内容等※注2

5 その他(希望する指導者を記入する)

*要請訪問A：特別支援学校の授業研究における指導助言等に活用できます。

特別支援教育に関する支援② 特別支援「まなびの広場」

特別支援「まなびの広場」

▶あなたの「知りたい！学びたい！」
を応援します！

▶特別支援まなびの広場

総合教育センターHP

→「教育相談・特別支援」

→特別支援まなびの広場

- ・教職員のまなび
- ・子どものまなび
- ・ポジティブ行動支援
- ・学校コンサルテーション



特別支援・相談課

特別支援・相談課では、不登校や学校における問題、特別な支援が必要な子どもの指導法などの相談に応じ、一人一人の子どもの健康な成長を支援します。
また、教育相談や特別支援教育に関する研修や助言・指導を行っています。

*** NEW 『新着情報』はこちらから ***

*** 職務研修（特別支援教育関係）のページはこちらから ***

教育相談

教育相談

- ・教育相談
- ・教育相談に関する資料
- ・施設案内

不登校支援

特別支援

特別支援

- ・教育課程関係資料（特別支援学校）
- ・NEW教育課程関係資料（小・中学校）
- ・通級指導教室
- ・NEW特別支援教育に関する資料

特別支援まなびの広場

教職員のまなび

- ・NEWあどばいすタイム
- ・特別支援教育に関するFAQ
- ・特別支援教育e-ラーニング
- ・NEW特別支援学級ハンドブック



特別支援・相談課HP

特別支援まなびの広場

教職員のまなび

- ・NEWあどばいすタイム
- ・特別支援教育に関するFAQ
- ・特別支援教育e-ラーニング
- ・NEW特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- ・学習教材e-ラーニング
- ・算数の学習教材

ポジティブ行動支援

- ・NEW PR動画
- ・パンフレット・リーフレット
- ・研修用動画
- ・研修資料・教材例
- ・Q & A
- ・実践事例
- ・NEWとくしまPBS7ワード

学校コンサルテーション

- ・小・中学校
- ・特別支援学校
- ・給食等の指導
- ・不登校支援

特別支援教育に関する支援② 特別支援「まなびの広場」 教職員のまなび

特別支援 まなびの広場

教職員のまなび

▶特別支援学級ハンドブック

特別支援学級ハンドブック

教室環境 教材・教具 授業事例 引継様式例

教職員のまなび

- NEW あどばいすタイム
- 特別支援教育に関するFAQ
- 特別支援教育e-ラーニング
- NEW 特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- 学習教材e-ラーニング
- 算数の学習教材

ポジティブ行動支援

- NEW PR動画
- パンフレット・リーフレット
- 研修用動画
- 研修資料・教材例
- Q & A
- 実践事例
- NEW とくしまPBSアワード

学校コンサルテーション

- 小・中学校
- 特別支援学校
- 給食等の指導
- 不登校支援

「特別支援学級ハンドブック改訂版」の内容

I 特別支援教育とは 1. 特別支援教育とは	V 理解推進と連携のための方法 1. 校内支援体制について（校内支援体制の構築、管理職や特別支援教育コーディネーターの役割） 2. 保護者・地域への理解啓発（正しい理解と啓発）
II 特別支援学級について 1. 特別支援学級とは（対象となる児童生徒） 2. 新年度の準備（4月当初にしておきたいこと） 3. 障がい特性に応じた支援と配慮の基本（特性に応じた支援の例） 4. 児童生徒の理解の工夫（実態把握、行動観察）	VI さらなる支援の充実の方法 1. 儀式的行事での支援（入学式・卒業式） 2. 教科用図書等の選定（教科用図書） 3. 福祉の制度及びサービスについて（障がい者手帳） 4. 進路についての支援と配慮（進路の例）
III 学習指導について 1. 教育課程の編成（特別的教育課程、自立活動他、授業時数の配当、時間割の作成） 2. 特別支援学級における学習指導（指導における支援と配慮、指導形態、年間指導計画の作成、各教科等における配慮事項） 3. 個別の指導計画と指導・支援のポイント（個別の指導計画、学習指導案様式例、各障がい学級の指導・支援のポイント） 4. 交流及び共同学習（交流及び共同学習のポイント） 5. 評価について（通知表の作成、指導記録の記載）	VII 知っておきたい「関連する法令等」.pdf 1. 関連する法令・通知等（教育基本法、学校教育法等） 2. 専門性チェックシート
IV 充実した支援のための方法 1. 保護者との連携（保護者との関係において、連携の場、連携の方法） 2. 個別的教育支援計画（連携と支援の継続のためのツール、合理的配慮の提供、関係機関との連携） 3. 引継ぎ（引継ぎの資料等）	全体版ダウンロードサイトはこちら.pdf ↓ 

チェックシートは、コピー又はダウンロードをして御活用ください。

特別支援学級担任教員に求められる専門性チェックシート		記入日：1回目 月 日	
項目		できている	できていない
実態把握	児童生徒の障がいの状態、発達や生活経験の程度、興味・関心、生活や学習環境などの実態を的確に把握する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	児童生徒本人と、保護者の希望や教育的ニーズを把握する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	これまで作成された個別的教育支援計画をもとに、関係機関や保護者と連携して、今後の支援や指導の計画を立てる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
指導計画	児童生徒の実態や教育的ニーズを踏まえて、学校における合理的配慮の提供について児童生徒本人や保護者と合意形成を図って計画する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	児童生徒の実態から、具体的な目標や手立てを設定し、個に応じた指導・支援の実践に生かす。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
年間指導計画	実践をふり返って評価を行い、指導・支援についての計画の見直しをする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	年間指導計画を作成したり、学級経営の目標（学級経営方針）を設定する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
環境設定	掲示物を工夫するなどして、教室内の刺激量を調整する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	構造化の手法（空間、時間、ワークシステム等）を取り入れたり、学級内のルールの明確化を図ったりする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	児童生徒の不器用さや感覚過敏等への配慮をする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特別支援学級担任 専門性チェックシート

授業の見直しをもつ、活動の理解を促す

- 黒板を利用
- ICTを利用
- 個別のタブレットに配信、電子黒板に示す
- 授業の簡単な流れ・活動時間、活動内容等を示す

**授業のユニバーサルデザイン
～集団への支援～**

既習事項の確認

教室の側面や背面に既習事項を掲示する

個に応じたやる気を引き出すための支援

みんなの約束を見て確認

みんなの約束を見て確認

見れば分かるようにルールを教室に掲示する

積極的に授業に参加

話し合いの手引き等準備
答え合わせ、ノートチェック、意見交換、相互褒め
ペア学習やグループ学習を
活用する

進捗カード

項目	レベル1	レベル2	レベル3
黒板を利用	黒板を利用	黒板を利用	黒板を利用
ICTを利用	ICTを利用	ICTを利用	ICTを利用
個別のタブレットに配信、電子黒板に示す	個別のタブレットに配信、電子黒板に示す	個別のタブレットに配信、電子黒板に示す	個別のタブレットに配信、電子黒板に示す
授業の簡単な流れ・活動時間、活動内容等を示す	授業の簡単な流れ・活動時間、活動内容等を示す	授業の簡単な流れ・活動時間、活動内容等を示す	授業の簡単な流れ・活動時間、活動内容等を示す

個人的目標に合わせて取り組めるようにカードやワークシートを工夫する

みんなのアイディア

特別支援教育に関する支援② 特別支援「まなびの広場」 子どものまなび



特別支援 まなびの広場

教職員のまなび

- ・ NEW あどばいすタイム
- ・ 特別支援教育に関するFAQ
- ・ 特別支援教育e-ラーニング
- ・ NEW 特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- ・ 学習教材e-ラーニング
- ・ 算数の学習教材

ポジティブ行動支援

- ・ NEW PR動画
- ・ パンフレット・リーフレット
- ・ 研修用動画
- ・ 研修資料・教材例
- ・ Q & A
- ・ 実践事例
- ・ NEW とくしまPBSアワード

学校コンサルテーション

- ・ 小・中学校
- ・ 特別支援学校
- ・ 給食等の指導
- ・ 不登校支援

子どものまなび

➤算数の学習教材

算数の学習教材

算数の学習でつまずきやすい単元についてプリント教材を作成しました。
問題はスモールステップで構成させているため「わかった」「できた」を積み重ねながら学習を進めることができます。

各教材には活用方法がありますので仕様書を確認した上で活用してください。
ただし、児童生徒の実態に応じて柔軟に活用していただいてもかまいません。

*このプロジェクトでの教材は、法政大学 教授 島宗 理 氏の監修のもと作成しています。

【※ご利用になる際は、こちらをお読みください】 ←クリック

公開している教材

対象学年	教材名
小学1年生以上	「時計のれんしゅう」「時計」「たすのかな ひくのかな」「なんばんめ」
小学2年生以上	「時ごとと時間」
小学3年生以上	「わり算を使った文しょうだい」
小学4年生以上	「わり算の練習」「大きな数*」
小学5年生以上	「平均」「割合の問題*」

本教材は法政大学文学部心理学科島宗教授による監修のもと作成され、小学生を対象とした試用とそれに基づく改善が行われました。ただし、「*」の付いた教材は、島宗教授による監修のもと作成されましたが小学生を対象とした試用とそれに基づく改善はまだ行われていません。

時ごとと時間

小学2年生の算数科の単元「時ごとと時間」の教材です。

基本問題とチャレンジ問題があります。

わかった! できた!

算数の もんだいをといて
さんずうレンジャーに へんしんだ

「時ごとと時間」

さんずうレンジャー

年 級 番

名前

時ごとと時間のれんしゅう 1-1-1

1. いま 1時間あとは 時	2. いま 1時間あとは 時
3. いま 2時間あとは 時	4. いま 3時間あとは 時
5. いま 4時間あとは 時	6. いま 1時間あとは 時
7. いま 3時間あとは 時	8. いま 2時間あとは 時
9. いま 3時間あとは 時	10. いま 4時間あとは 時

※まなびの広場に収録している教材のページにもこのワークシートを掲載しています。

時ごとと時間
ワークシート

特別支援教育に関する支援② 特別支援「まなびの広場」 ポジティブ行動支援



特別支援 まなびの広場

教職員のまなび

- NEW あどばいすタイム
- 特別支援教育に関するFAQ
- 特別支援教育e-ラーニング
- NEW 特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- 学習教材e-ラーニング
- 算数の学習教材

ポジティブ行動支援

- NEW PR動画
- パンフレット・リーフレット
- 研修用動画
- 研修資料・教材例
- Q & A
- 実践事例
- NEW とくしまPBSアワード

学校コンサルテーション

- 小・中学校
- 特別支援学校
- 給食等の指導
- 不登校支援

ポジティブ行動支援

ポジティブ行動支援



ポジティブ行動支援 研修用動画

これまで徳島県の特別支援教育に指導助言をいただいていた最新の研究知見を有する教育分野の研究者で構成する「新時代『発達障がい教育』推進プロジェクトチーム」作成による、ポジティブ行動支援（PBS）についての研修用動画を公開しています。

各校におけるポジティブ行動支援の推進・充実にめざし、校内研修や自己研修に、ぜひご活用ください。

ポジティブ行動支援研修用動画一覧

ポジティブ行動支援研修用動画 全24本 公開中!

(上から順番に次のとおり、動画が並んでいます。)

1. 「PBSの基本を学びたい！」
 - 1-1 ポジティブ行動支援（PBS）とは？（約20分）
 - 1-2 ポジティブ行動支援の基本1（約13分）
 - 1-3 ポジティブ行動支援の基本2（約14分）
 - 1-4 標的行動の決め方（約24分）
2. 「第1層支援について学びたい！」
 - 2-1 ポジティブ行動支援の具体的な手立て①（約17分）
 - 2-2 ポジティブ行動支援の具体的な手立て②（約19分）
 - 2-3 ポジティブ行動支援の具体的な手立て③（約16分）
 - 2-4 学校規模ポジティブ行動支援①（約32分）
 - 2-5 学校規模ポジティブ行動支援②（約36分）

▶ 研修用動画

ポジティブ行動支援研修用動画©徳島県教育委員会

← 一覧へ

ポジティブ行動支援とは？

- Positive Behavior Support (PBS)
- 「**ポジティブな行動**」を「**ポジティブな方法**」で支援するための枠組み
- 「問題行動を減らすこと」を最終的な目的とせず、子どもにとって意義のある行動を育てることを重視する
- 罰的な手続きに頼らず、「環境設定」と「適切な指導・練習」、「賞賛・承認」による包括的なアプローチを行う

1:56 / 19:44

研修用動画の一部分

ポジティブ行動支援研修用動画©徳島県教育委員会

4. 第3層支援について学びたい!

全ての動画 ▾ タイトル順 ▾ 10件 ▾

チームで取り組む第3層支援 NEW 4-1_チームで取り組む第3層支援 前編

Web管理者
▶ 597 🔒 0

第3層（個別）支援の研修用動画も充実

特別支援教育

あどばいすタイム

特別支援教育について、「もっと知りたい」、「もっと学びたい」、特別支援学級の先生や通常の学級の先生、管理職の先生など・・・、
役職、校種に関係なく特別支援教育に携わる先生方に聞いてほしい、すきま時間を活用した『まなびのサポートタイム』です。

毎月1回、新しい情報を
オンデマンド配信！！
過去の動画をいつでも
どこでも見放題★



資料のダウンロードは、
「特別支援まなびの広場」から

☆☆パスワードなしでアクセス可☆☆

(※資料は前日までにアップします。)
(※資料が無い場合もあります。)



特別支援教育や教育相談についての
メール相談も受付中！

tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp

過去の配信は、特別支援まなびの広場のあどばいすタイムから



現在、20本以上配信中

【お問合せ】
徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課
TEL 088-602-7205



まなびの広場へアクセス
特別支援まなびの広場



<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/>



ご質問やご相談のある方は・・・

➤ 相談専用電話について

- ・ 電話番号：088-672-5200（従来の番号）
- ・ 対応時間：平日午前9時から午後5時まで

➤ 事務局用電話について

- ・ 電話番号
 - 特別支援担当：088-602-7205（新設）
 - 教育相談担当：088-602-7285（新設）

